

三角山

(山の手側入口) 地下鉄琴似駅
発JRバス「琴29」で「山の手
4条11」下車。徒歩5分。



山の手地区にある富士山にも似た美しい山。その名は、いつ誰が付けたか定かではない。

山頂には明治三十一年六月十九日、国土地理院が一等三角点を設置し、測量の基点とした。平成十年には百年を迎え、一等三角点の改修工事が行われた。植物の豊かな三角山では、そこをすみかとする昆虫や小動物も多く見られる。なかでもキアゲハは三角山を代表するチョウとして知られている。三角山のキアゲハは、山ろくの発生地から頂上に向かって飛ぶという珍しい生態を見せる。動物では、エゾリス、シマリスなどの小動物が生息している。

西野市民の森

地下鉄琴似駅発JRバス「琴43」などで「西野8条8」下車。徒歩20分。

宮丘公園の西側に広がる西野市民の森。手稲山南東部の緑の半島部分が、西野市民の森にあたり、北側は宮丘公園、南側は西野西公園に隣接している。両公園には駐車場が整備され、車でも気軽に訪れることができる。

宮丘公園入口から旧西野キャンプ場まで行き、再び宮丘公園に戻るコースがお勧め。時にはエゾリスも姿を見せる。また、旧西野キャンプ場周辺は川が流れており、さまざまな動植物を見ることが出来る。また住宅街に隣接するため、地元の人たちの生活に密着した里山の雰囲気も楽しめる。



▲ヒグマ出没情報に十分注意すること

野生生物に気をつけましょう

ハチ 刺されると命の危険も

- ハチの中でもスズメバチは攻撃性が強く危険です。ハチは黒い色に攻撃性を持つといわれていますので、なるべく明るい色の服を着ましょう。
- 巣に近づくのは大変危険です。すぐにその場を立ち去りましょう。スズメバチが周りを飛んでいるときは、決して急な動きをしたり、手で払いのけたりしないでください。攻撃されたと思って襲ってくる場合があります。

キツネ 生水を飲まない

- キツネは、フンを通して、エキノコックスという寄生虫を媒介する動物です。生水を飲んだり、低い位置に生えている実などを食べないようにしましょう。



マムシ 出合っても冷静に避難



- マムシは体長40~50cmで、太く短く、背は褐色の地に黒褐色の銭型模様があります。動作が遅い上に、小さく毒量も少ないので、出合ったときは慌てず冷静にその場を離れましょう。

広告欄